

平成28年度 愛知県社会福祉協議会ボランティアセンター事業実績 (福祉教育関連)

(1) 福祉読本「ともに生きる」の作成・配布

小学生の社会福祉についての理解と関心を深めるため、学校・家庭・地域における福祉教育の啓発材料として「福祉読本」を改定・作成し、県内の小学校5年生を対象に、作成・配布した。

作成部数 93,000部

(2) 「地域・学校・社協ですすめる福祉教育ハンドブック」の作成・配布

地域、社協、学校での福祉教育推進を図るとともに、新たに教員のための福祉教育ハンドブックを作成し、地域・学校・社協の協働による新しいプログラムを策定・提示し、福祉教育の推進を図った。

作成部数 5,000部

(3) 2017 福祉教育・ボランティア学習のつどい in あいち・なごやへの参画

▶期 日 2月11日

▶会 場 県社会福祉会館

▶内 容 鼎談「共生社会の実現にむけて～障害差別と偏見にむきあう～」

登壇者 特定非営利活動法人舞夢 理事長 市江 由紀子 氏

社会福祉法人むそう 理事長 戸枝 陽基 氏

進 行 日本福祉大学

日本福祉教育・ボランティア学習学会 会 長 原田 正樹 氏

分科会 第1「合理的配慮をどう伝えるか ～障害者差別解消法と福祉教育～」

第2「学生の社会活動を通じた学習（サービ斯拉ーニング）

～地域と学生の協働によるまちづくり～」

第3「学校で実践する防災福祉教育～ふくしの視点から考える防災教育～」

第4「交流から『違い』や『同じ』を学ぶ、福祉教育プログラム」

▶参加者 202名

(4) 児童・生徒の福祉実践教室の開催

① 学校別

小学校 885校・中学校 197校・高 校 76校・専門学校 4校・その他 10校

合 計 1,172校

② 実施科目別内訳

科 目	車いす	手 話	要約 筆記	点 字	盲導犬	視覚障害者 ガイド	知的 障害	疑似 体験	その他
回 数	540	520	142	454	94	403	35	293	265

③ 参加児童生徒数 165,699人

④ テキスト「思いだしてごらん」の作成

児童・生徒の福祉実践教室用のテキストとして、車いす、点字、手話、要約筆記、盲導犬、知的障害者理解などを通して、障害者への理解と身近にできるボランティア活動を紹介した冊子を作成・ホームページに掲載し、福祉実践教室に参加した児童・生徒、先生等によって活用された。

⑤ 実施カリキュラム（標準）

時 間	30分（2時限）	40分（3時限：選択）、40分（4時限：選択）		
科 目	講義「私たち障害者の願い」等	車いすの説明・実技	手話または要約筆記の説明・実技	点字の説明・実技
人 数	全 員	40名以内	40名以内	40名以内
会 場	室 内	室外（雨天室内）	室 内	

⑥ 協賛団体

愛知県身体障害者福祉団体連合会、愛知県盲人福祉連合会、愛知県聴覚障害者協会、車いすセンター、愛知県難聴・中途失聴者福祉連合会、中部盲導犬協会、愛知県知的障害者育成会

(5) 福祉体験作文コンクール

小・中・高等学校の児童・生徒を対象として、福祉の体験作文を募集した。

① 募集期間 4月～9月

② 応募状況

区 分	小 学 生		中学生	高校生	合 計
	低学年	高学年			
応募数	114編	343編	264編	19編	740編

③ 福祉体験作文コンクール優秀作品の選考、優秀作品集の作成

選考委員会で25編の優秀作品を選び、入選者を表彰するとともに、優秀作品集として800部作成し、関係機関に配布した。なお、選考委員会は、教育委員会・福祉関係者等6人を委員として、1月6日に開催した。

(6) 「ボランティア体験月間」の普及促進

参加者総数 7,070人・受入施設数 延べ794施設